

平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について

津山市立高野小学校

教育目標(めざす児童生徒像)	今年度の指導の重点
<p>「自ら考え、ともに伸びていく、心豊かな子どもを育てる」 (めざす児童像)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく聞き、自分で考える子 ・話し合い、力を合わせる子 ・最後までやりぬく子 	<p>「規範意識の徹底と学び合いの推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の定着を図る。 ○基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ○自分を大切にし、友だちを思いやる心を育てるとともに、支え合う集団を育てる。 ○家庭や地域、保育園、中学校との連携を密にし、その教育力を指導に生かす。 <p><年間を通じての取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ○進んであいさつをしよう。 ○チャイムスタートをしよう。 ○だまってそうじをしよう。
調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
<p>【学力状況調査の結果】 <全国></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語A・算数Aでは、県平均との差が昨年度より縮まった。 ○国語B・算数Bでは、県平均を下回っている。 ○国語Aでは、漢字の読みは、概ね定着しつつある。書きは、県平均を下回り、課題がある。 <p>(例)読みの問題:快晴:本校80.6%(県76.6%) 省く:本校86.1%(県83.6%) 書きの問題:したい:本校63.9%(県71.5%) そうだん:本校43.1%(県69.7%)</p> <p>○ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する問題、目的に応じて図と表とを関連づけて読む問題で、県平均を下回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ローマ字の読み・書きは県平均を大きく上回っている。 ○算数Aでは、基礎的な計算で県平均との差が縮まった。 <p>(例)4.65+0.3:本校84.7%(県80.9%) 18÷0.9:本校80.6%(県81.8%) 2/9×3 :本校87.5%(県86.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図形・割合の問題において県平均を下回っている。 <p><県></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語・数学・社会・理科とも県平均との差が縮まった。 <p>知識・理解を問う問題(短答)は、少しずつ成果があらわれている。 記述問題は課題が残る。</p>	<p>【学習状況調査】 1. しているの児童で比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当たりのゲーム(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマホを含む)4時間以上:本校19.4%(県7.7%) ○朝食を毎日食べている:本校79.2%(県87.5%) ○ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある:本校56.9%(県73.7%) <p>→目標(学校・学級・学校行事等で)を決めて、やり遂げる経験が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分には、よいところがあると思う:本校34.7%(県37.3%) →友達や教師、家族から認められ、自己有用感を高めることが必要である。 ○友達の話最後まで聞くことができる:本校44.4%(県59.4%) <p>→学校全体で、授業規律を徹底させることが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来の夢や目標を持っていますか:本校69.4%(県67.9%) <p><テレビ等の視聴時間(平日)></p> <ul style="list-style-type: none"> ○テレビ、ゲームなどの時間が県平均よりも長い。2時間以上の割合:本校58.3%(県56.3%) ○家庭学習の時間(平日)> ○1日当たりの学習時間が短い。1時間以上の割合:本校54.2%(県68.6%) →宿題の量・質を検討することが必要である。→自主学習のレベルアップを図る。 <p><読書時間(平日)></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当たりの読書時間が短い。30分以上の割合:本校30.6%(県36.3%) <p><あいさつ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○近所の人に会ったときは、あいさつをしている。肯定率:本校90.7%(県93.9%)
成果と課題	課題に対応した改善方法
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字の読み書きの中には、全国平均を上回っているものも増え、日常の反復学習の成果と考えられる。引き続き、当該学年の漢字の読み書きの徹底の取組を行う。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教科とも、基礎的な問題ができていない。 ○長い文章や問題文を読むことができていない。(慣れていない。) ○国語のことわざ、主語・述語の関係、読み取りの問題で依然として課題がある。 ○算数では、依然として図形、割合の分野に課題がある。 ○社会・理科では、各単元の基礎的な内容が理解できていない。(定着できていない。) →3年生・4年生・5年生で学習した内容の復習が必要である。 	<p><落ち着いた学習環境づくり></p> <ol style="list-style-type: none"> ①高野小授業規律の徹底 チャイムスタート・あいさつ・話し方・聞き方・姿勢→全校で徹底して行う ②高野小学習のスタンダードの徹底→児童主体の授業づくり めあてとまとめ・書く活動・学び合い・定着(何を学んだのかはつきりする授業)←魅力ある授業づくりとの関連 <p><学力向上の取組></p> <ol style="list-style-type: none"> ①高野小漢字テストの実施(全校) ②漢字検定の取組(全校) ③計算ぐんぐんの実施(全校) ④朝の会での取組(全校) <ひらがな・カタカナ・九九・ローマ字・地図記号・故事成語・四字熟語・歴史人物> ⑤理科・社会プリント(3年生以上) <5月より、週末の課題> ⑥過去の学力テスト(4年生以上) <9月より、週末の課題> ⑦問題データベースを高野タイムで全学年活用する。
取組の検証方法及び検証時期(2学期末及び年度末)	各校の具体的な達成目標(数値目標等)
<ol style="list-style-type: none"> ①高野小漢字テスト→上の漢字は、11月、下の漢字は2月に実施。宿題や高野タイムで反復練習→全校テスト(抽出・読み50問、書き50問) →正答率90%をめざす。 ③計算ぐんぐん→年4回(全校で2週間程度実施)、各回の実施時期までの計算単元を網羅したプリントを作成→反復練習 →正答率90%をめざす。 ④朝の会の取組→年間を通して、毎日継続して取り組む。 ⑤⑥について→学年末に当該学年のまとめテストを実施し、検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語A・算数Aともに、県平均以上をめざす。 ○漢字の読み書きの習得率90%以上をめざす。 ○基礎的な四則計算の習得率90%以上をめざす。